

第14回 ヨーロッパアストロバイオロジー会議 (The 14th European Workshop on Astrobiology (EANA))

開催日時: 2014年10月13日-16日 開催場所: エジンバラ、イギリス

宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所
宇宙航空プロジェクト研究員 河口優子

この度、公益財団法人宇宙科学振興会からの助成金で、第14回ヨーロッパアストロバイオロジー会議に参加させて頂きました。開催場所はスコットランドに位置するエジンバラで、ハリーポッターに出てきそうな町並みが広がっており、大変感動いたしました。

学会では、日本初のアストロバイオロジー実験たんぽぽ計画の目的と背景について、チームを代表して発表しました。たんぽぽ計画では、宇宙を微生物が伝播しているというパンスペルミア仮説を検証するために、国際宇宙ステーションの外側で、地上由来の微生物の捕集及び微生物の曝露実験を計画しています。合わせて初期地球の生命の起源の重要なプロセスである化学進化に宇宙物質がどのように寄与したかを解明するために実験を行います。

私の発表中にはオーディエンスから笑いが起こり、講演中のDiscussionでは時間の限りに、たくさんの質問やコメントを頂きました。Coffee break 時にも絶え間なく様々な分野の方々から、「とてもクリアでロジカルな発表であった」「たんぽぽ計画の結果に期待している」と賞賛いただきました。また、たんぽぽ計画を紹介するために作ったシールを皆さんに配ると大変喜んで頂きました。海外の方にとって「Tanpopo」という発音は非常に難しいのですが、「Tanpopo is very exciting!」と声をかけて頂き嬉しかったです。たんぽぽ計画を知ってもらい、という任務は十分に果たせた様に思います。

数年後に、国際宇宙ステーションの運用をストップすることが各国で検討されています。アストロバイオロジーにとっては大変重要な実験施設を失ってしまうことになります。その対策として、今後は今まで以上に、ドイツ、スペイン、イタリア、オーストリア、日本等で国際協力を進めていこうと各国の研究者と話し合いを行いました。

私は、非常に英語が苦手で、3年前に同学会に参加したとき、本当に聞き取りもできず、話すことも出来ずコミュニケーションが取れないことに情けなく辛い思いをしました。しかし、少しずつ改善され、今学会ではたくさんの同世代の友達を作ることも出来ました。世界各地に高いモチベーションを持って研究を行っている研究者がいることは、これからの財産になると思います。これからも切磋琢磨して研究に精進していきたいと思っています。

今回の学会参加にあたり、助成をいただいた公益財団法人宇宙科学振興会に厚く御礼申し上げます。



会場風景



筆者の発表風景



会議で知り合った出席者たちと記念撮影する筆者（右端）